

2024年3月6日
株式会社日本政策金融公庫

20代は社会貢献意欲を背景にソーシャルビジネス起業への関心が高い ～起業予定層のソーシャルビジネス（SB）に対する意識調査結果～

日本政策金融公庫は、社会的課題の解決に取り組む若年起業家を中心にソーシャルビジネス（以下、SBという）関連融資実績が増加していることを踏まえ、起業を予定する者を対象に、SBに関する起業意識の実態を把握するために、本調査を実施しました。概要は以下の通りです。

（※）SBとは、高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、地域活性化、環境の保全など、地域や社会の課題解決にビジネスの手法を用いて取り組む事業をいう。

1 約7割がSBを聞いたことがある（4ページ）

SBについて、「聞いたことがあり、意味も知っている」が25.9%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が49.5%となった。

2 約7割が「SBで起業したい」（5ページ）

起業予定層の67.0%が「SBで起業したい」と回答している。年代別にみると、20代が69.8%と全体を上回っている。

3 SB起業に関心を持ったきっかけは、社会貢献意欲が最多（6ページ）

「SBで起業したい」層がSB起業に関心を持ったきっかけは、「地域や社会の役に立っているという実感を得たいから」が45.8%と最多。年代別では、20代が53.3%と他の年代より高い。

4 「SBで起業したい」層はボランティアなどの経験がある割合が高い（7、8ページ）

「SBで起業したい」層は、「SB以外で起業したい」層に比べて、自発的なボランティア、地域や社会の問題にかかる学習、対価のない寄付の経験がある割合が高い。特に年代が若いほどその傾向がみられる。

5 「SBで起業したい」層が検討する資金調達方法は多岐に渡る（9ページ）

「SBで起業したい」層が検討する資金調達方法は、「融資」が38.1%、「補助金・助成金」が45.1%、「クラウドファンディング」が32.8%となっている。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 創業支援部 ソーシャルビジネス支援グループ TEL：03-3270-1495（担当：乙吉、早原）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

I 調査目的と実施要領

1 調査目的

- ・日本政策金融公庫では、社会的課題の解決に取り組む若年起業家を中心に、S B 関連融資実績が増加している。これは、社会的課題の多様化や複雑化を背景に、社会的課題に対する起業家の関心が高まっていることなどが考えられる。
- ・そこで、起業予定層のS Bでの起業意識の実態を把握するために、「起業予定層のS B起業に対する意識調査」を実施した。
- ・なお、本調査では、「起業経験なし」かつ「起業に対する関心がある」と回答した者のうち、「1～10年以内に起業予定」または「時期未定だが起業意向あり」と回答したものを「起業予定層」と定義している。

2 実施要領

(1) 調査時期

2023年11月

(2) 調査対象

全国の20～69歳の男女

(3) 調査方法

インターネットによるアンケート（事前調査と詳細調査を実施）

（※）事前調査において、「起業経験なし」かつ「起業に対する関心がある」と回答した者を詳細調査の調査対象とした。

(4) 回収数

対象者	回収数（件）
1～10年以内に起業予定	309
起業時期未定	721

（※）起業に近い層の回答を十分に確保するため、「1～10年以内に起業予定」の回答数を300件以上に設定した。

3 調査対象の類型化

							回収数 (件)	構成比 (%)	
全国の20歳から69歳までの男女 起業経験の有無	なし	起業への関心の有無	あり	起業予定の有無	10年以内 または時期未定 (起業予定層)	SB(注)での 起業意欲の有無	あり	690	67.0
							なし	340	33.0
	あり	なし	起業するか分からない または起業するつもりはない				対象外	対象外	
							対象外	対象外	
	合計							1,030	100.0

SBで
起業したい

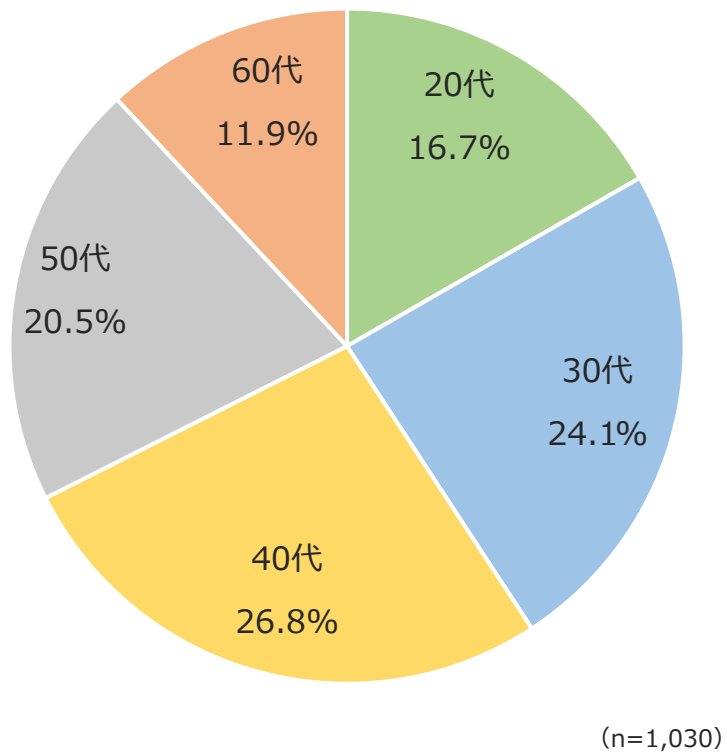
SB以外で
起業したい

(注) 高齢者や障がい者の介護・福祉、子育て支援、地域活性化、環境の保全など、地域や社会の課題解決にビジネスの手法を用いて取り組む事業をいう。

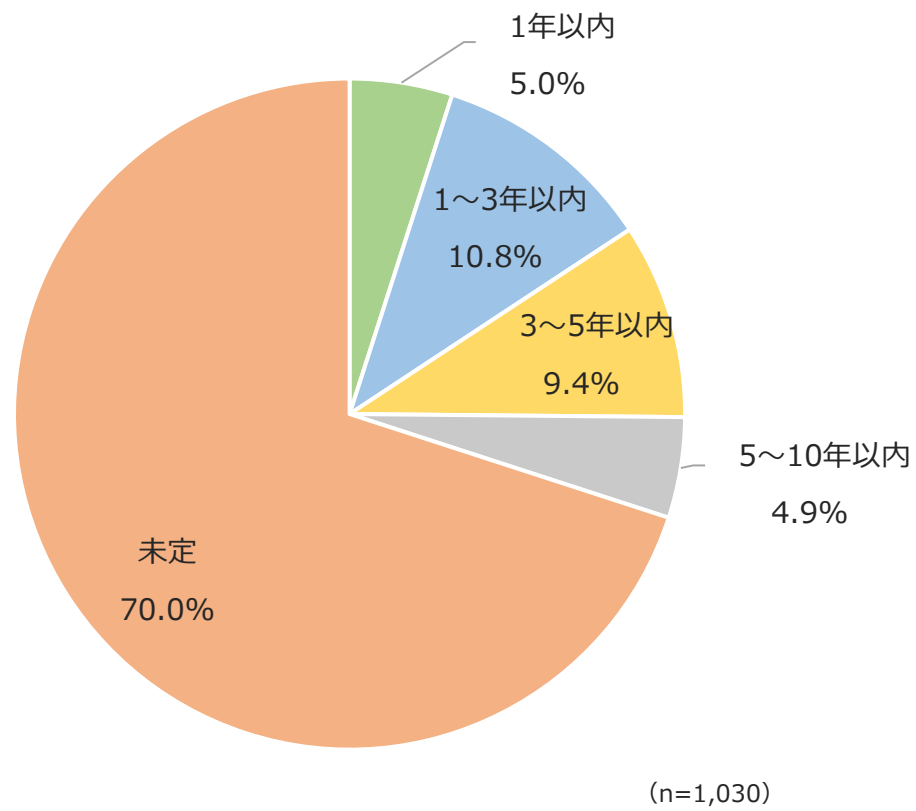
Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

<年代>



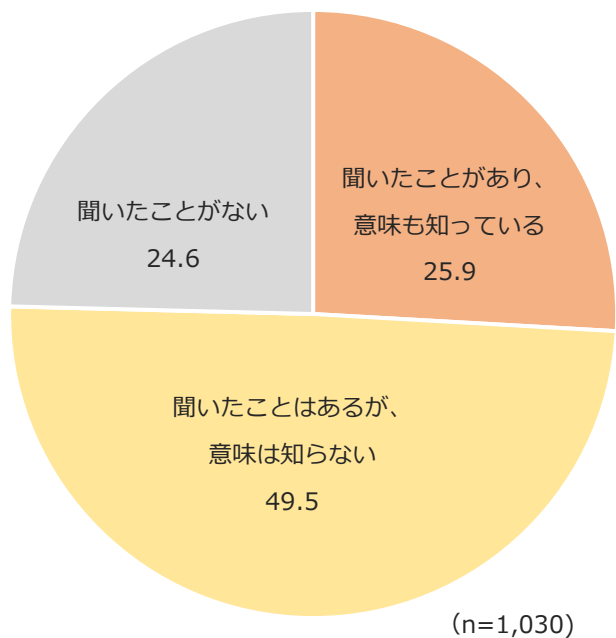
<起業予定時期>



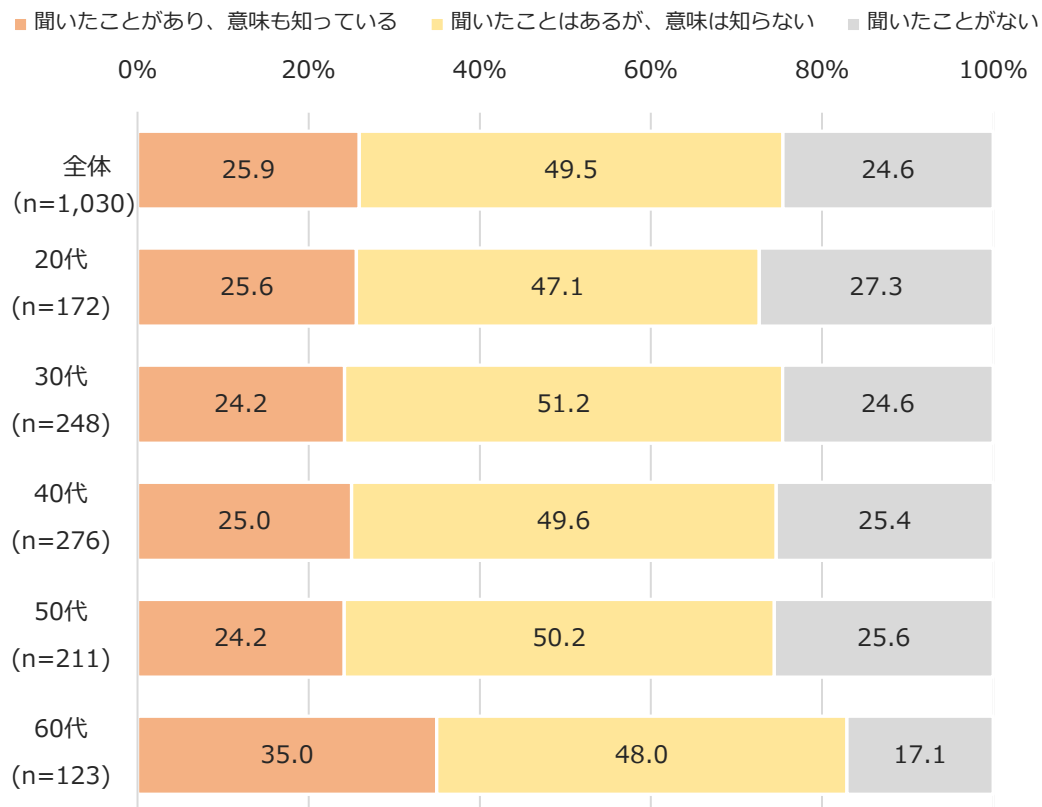
2 S Bの認知度

- S Bの認知度をみると、「聞いたことがあり、意味も知っている」が25.9%、「聞いたことはあるが、意味は知らない」が49.5%と、聞いたことがあると回答した割合は約7割を占めている（図－1）。
- 年代別にみると、60代が全体と比較して10ポイントほど認知度は高いが、それ以外は大きな差異はない（図－2）。

図－1 S Bの認知度



図－2 S Bの認知度（年代別）



3 SBでの起業意欲

(1) 全体像

- SBでの起業意欲をみると、「SBで起業したい」が67.0%を占めている（図-3）。
- 年代別にみると、20代は69.8%、50代は70.6%と、全体（67.0%）を上回っている（図-4）。

図-3 SBでの起業意欲

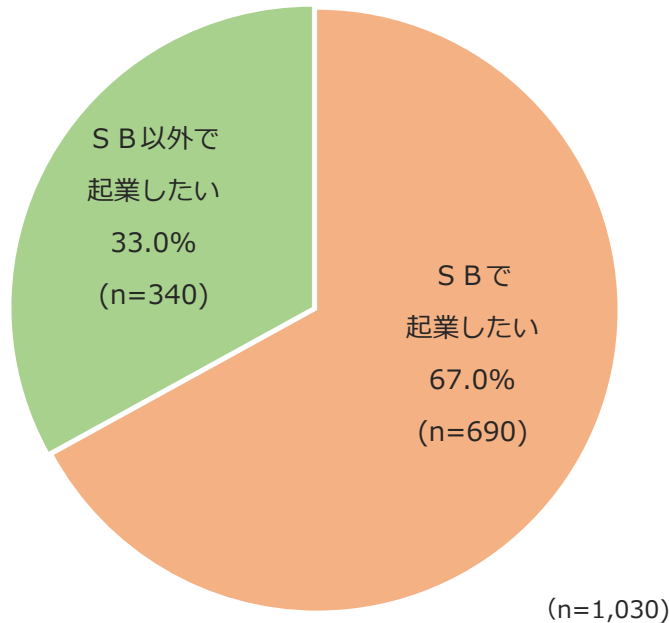
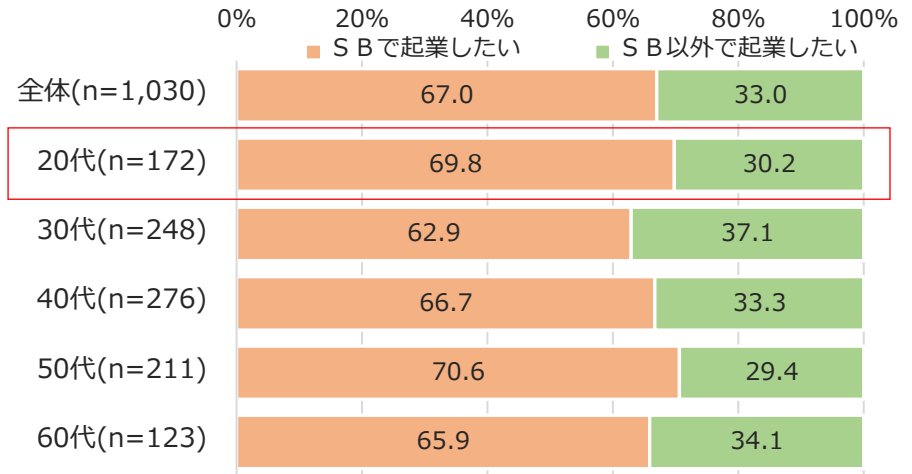


図-4 SBでの起業意欲（年代別）



【参考】取り組んでみたい活動分野（3つまでの複数回答）

（単位：%）

	全体	20代	30代	40代	50代	60代
子どもの健全育成	35.1	30.8	47.4	37.0	30.2	22.2
まちづくりの推進	34.8	36.7	37.8	26.1	40.3	35.8
保健、医療、福祉の増進 （高齢者支援、障がい者支援を含む）	30.7	27.5	25.6	33.2	30.2	40.7
環境の保全	26.8	32.5	20.5	28.3	26.8	27.2
学術、文化、芸術、スポーツの振興	25.7	26.7	23.1	28.3	22.1	29.6
職業能力の開発、雇用機会の拡充	26.7	24.2	28.8	25.5	26.2	29.6
観光の振興	20.9	25.8	18.6	22.8	22.8	9.9
農山漁村、中山間地域の振興	17.0	15.0	17.3	17.9	16.8	17.3
その他	1.0	0.8	1.3	0.5	1.3	1.2

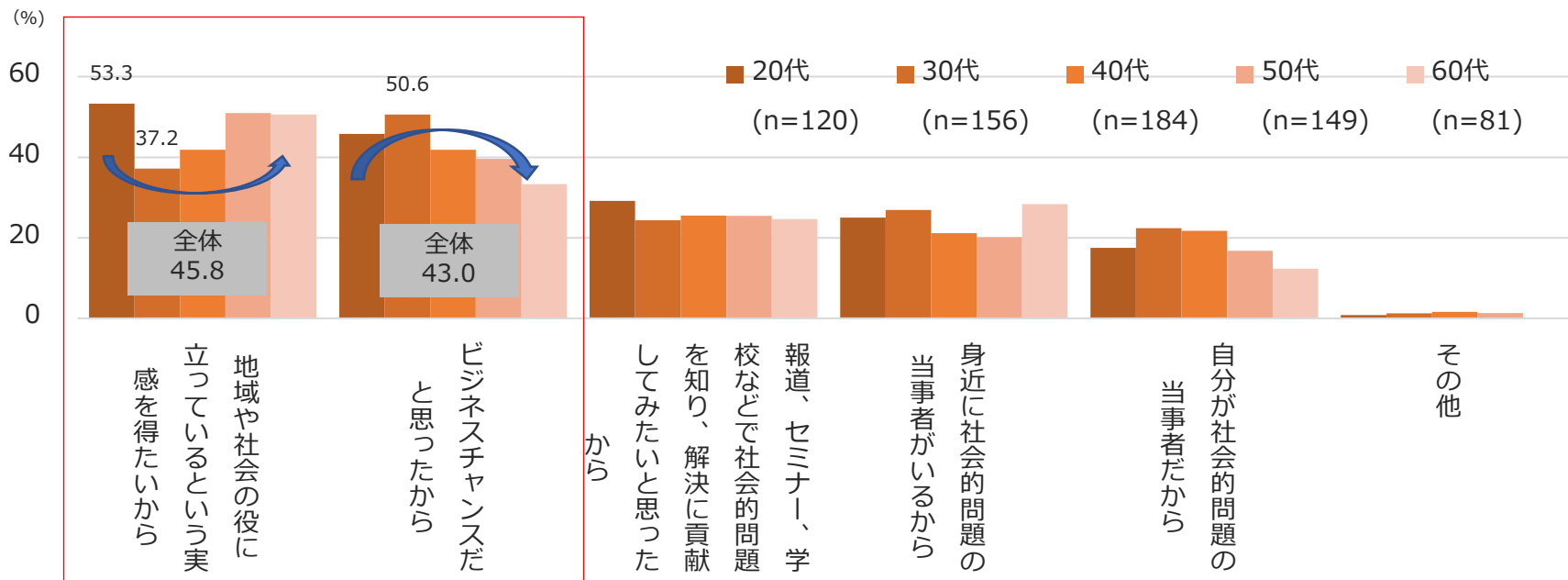
（※）全体と比べて5ポイント以上高いものをオレンジ色、低いものを水色で表示している。（n=690）

3 SBでの起業意欲

(2) SB起業に関心を持ったきっかけ

- SB起業に関心を持ったきっかけをみると、「地域や社会の役に立っているという実感を得たいから」が45.8%と最多。年代別では、20代が53.3%と他の年代より高く、U字型となっている（図-5）。
- 次点の「ビジネスチャンスだと思ったから」（43.0%）は、30代が50.6%と高く、逆U字型となっている（図-5）。

図-5 SB起業に関心を持ったきっかけ（年代別）（3つまでの複数回答）

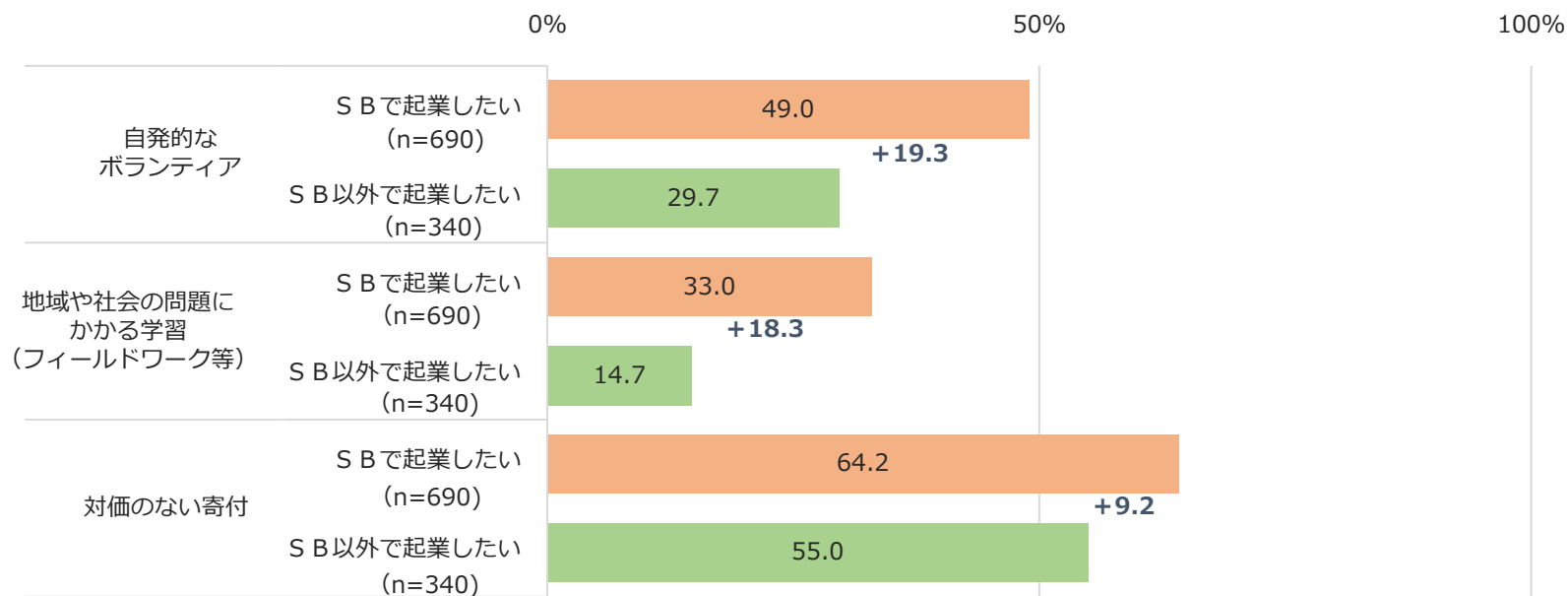


3 SBでの起業意欲

(3) 経験別

- 「SBで起業したい」層の経験のある行いをみると、「自発的なボランティア」が49.0%、「地域や社会の問題にかかる学習」が33.0%、「対価のない寄付」が64.2%となっている。これは、「SB以外で起業したい」層と比べて、それぞれ19.3ポイント、18.3ポイント、9.2ポイント高い(図-6)。

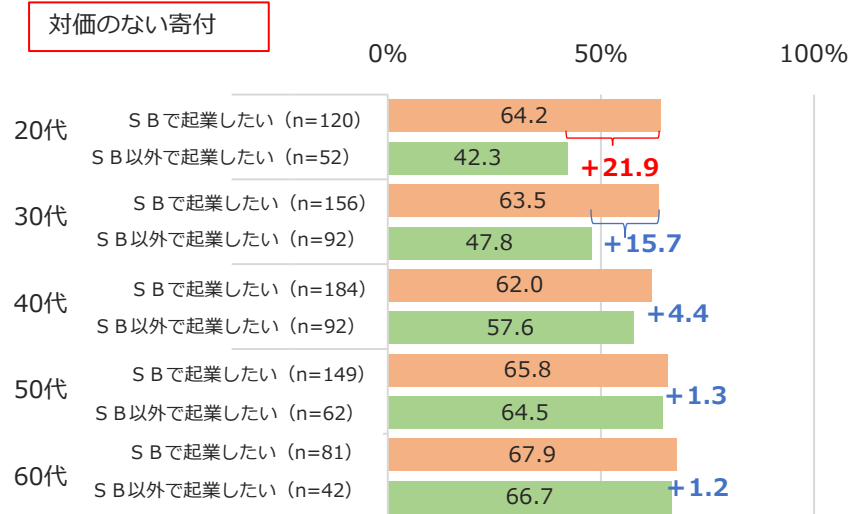
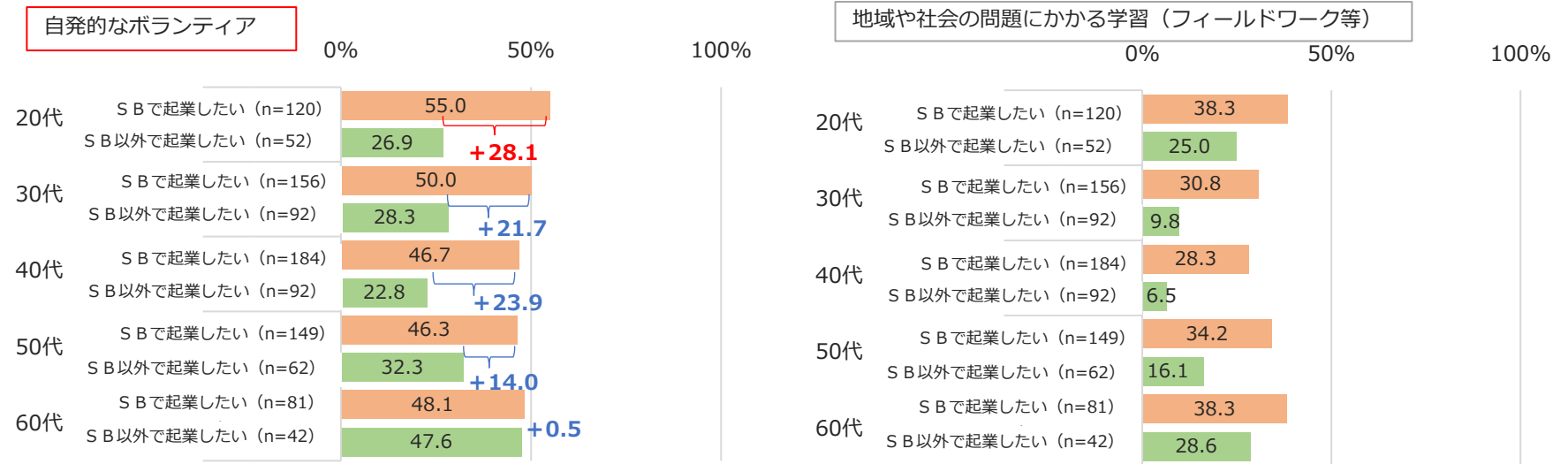
図-6 各種経験「あり」の割合(SB起業意欲別)



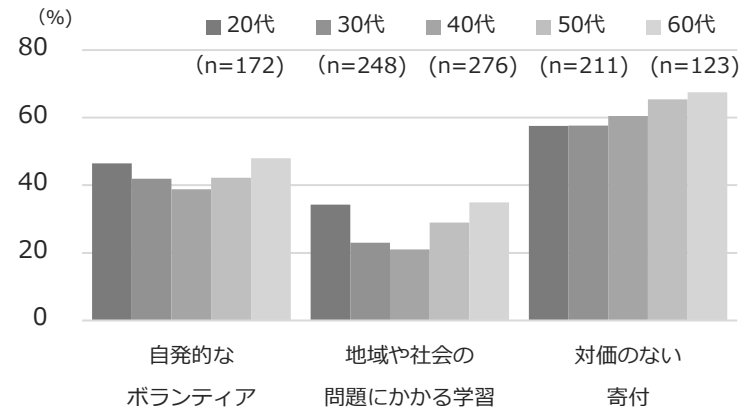
3 SBでの起業意欲 (3) 経験別 (年代別)

○ 「自発的なボランティア」及び「対価のない寄付」の経験を年代別にみると、年代が若いほど「SBで起業したい」層の経験ありの割合が、「SB以外で起業したい」層に比べて高い。特に20代では、それぞれ28.1ポイント、21.9ポイント高い(図-7)。

図-7 各種経験「あり」の割合(年代別、SB起業意欲別)



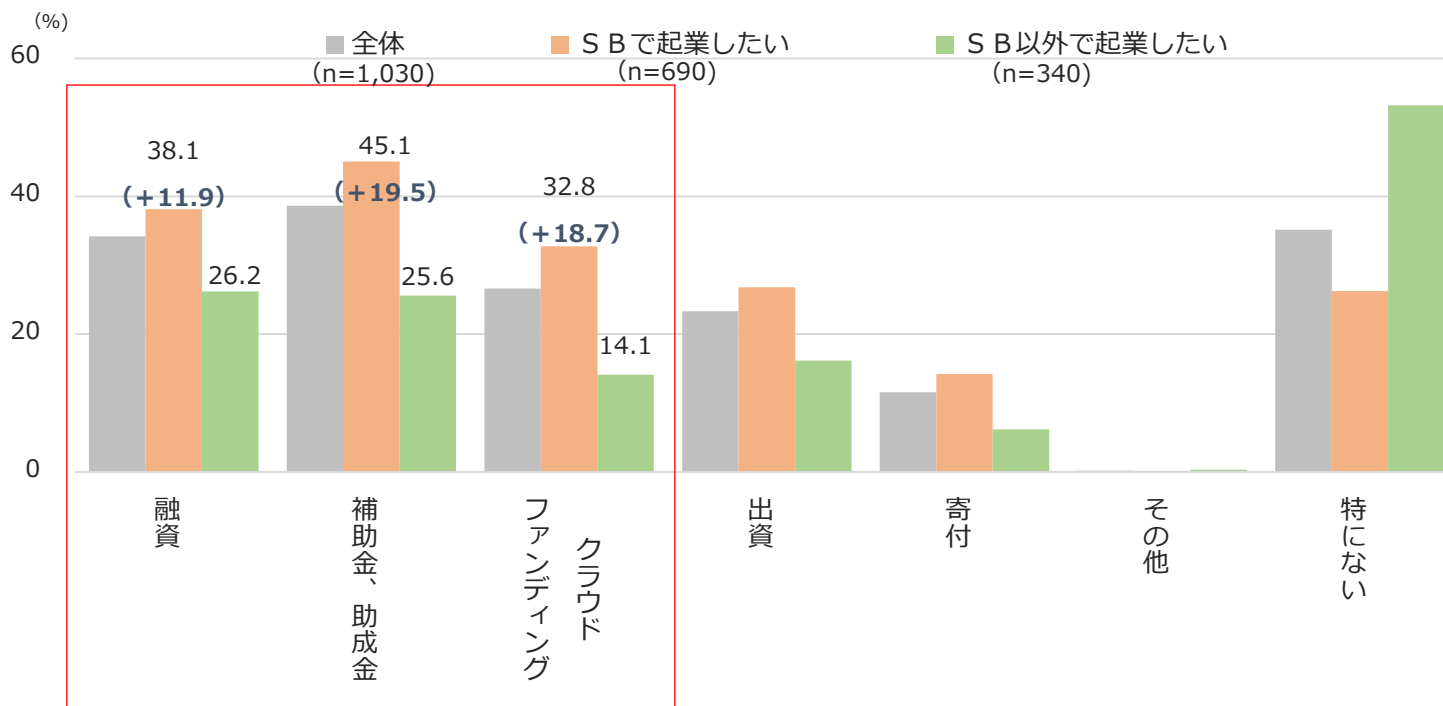
【参考】年代別の各種経験「あり」の割合



4 検討中の外部資金の調達方法

- 「S Bで起業したい」層が検討する資金調達方法をみると、「融資」が38.1%、「補助金・助成金」が45.1%、「クラウドファンディング」が32.8%と、資金調達は多岐に渡っている。
- 「S B以外で起業したい」層との比較では、それぞれ11.9ポイント、19.5ポイント、18.7ポイント高い(図-8)。

図-8 検討中の外部資金の調達方法（複数回答）



(参考) 日本政策金融公庫のS B 関連融資実績

(単位：件、億円、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 上半期	令和5年度 上半期	前年同期比
S B 関連融資 (注)	件数	15,037	12,465	15,296	8,134	8,989	110.5
	金額	1,845	1,137	1,265	704	678	96.3
①NPO法人	件数	1,803	821	692	333	279	83.8
	金額	196	70	57	29	20	69.4
②介護・福祉事業者	件数	13,741	7,559	7,533	3,869	3,655	94.5
	金額	1,723	714	624	336	272	80.9
③社会的課題の解決を目的とする事業者	件数	560	4,678	7,587	4,191	5,271	125.8
	金額	50	406	629	361	402	111.3

(注) 表中の①、②、③に対する融資実績の合計 (①と②の重複分を除く)